

研修No. 6 5

2022 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3月 27日
研究・研修課題名	放射線治療専門放射線技師の取得
研究・研修組織名(所属)	放射線治療専門放射線技師の取得(放射線部)
研究・研修責任者名(所属)	宮原善徳(放射線部)
研究・研修実施者名(所属)	中島寛人(放射線部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	中島寛人(放射線部)
学会名(会期・場所)、認定名等	放射線治療専門放射線技師
演題名・認証交付元等	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
取得日・認定期間等	2022年9月12日
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

放射線治療専門放射線技師は放射線治療に高い専門性を持つ診療放射線技師を一般社団法人日本放射線治療専門放射線技師認定機構が診療・研修実績と試験による評価をおこない、合格者に対して認定を行っている資格である。

本研修の目的は、放射線治療専門放射線技師認定試験を受験し、合格し、認定資格を取得することである。

②方法

認定教育セミナー(放射線治療概論、放射線治療技術、放射線計測(X線、電子線)、品質保証・品質管理、放射線看護、リスクマネジメント、放射線安全管理)を受講し、その後行われる放射線治療専門放射線技師認定試験を受験し、合格する。

③成果

近年の技術発展は目覚ましく、高精度放射線治療が普及期を向かえています。この発展はがん患者に多大な恩恵をもたらしましたが、同時に、診療放射線技師がこれまで以上に多くの専門的知識を修得し、精度の高い診療業務をおこなうことが求められることになってきています。

当院にも新しく2台のリニアック、治療計画用CT、治療計画装置、が導入され、いままで出来なかった、呼吸同期照射、強度変調回転照射、画像誘導放射線治療や適応放射線治療(ART)のためのDeformable image registrationが可能となりました。これらの治療技術は上手く実践できれば質の高い放射線治療を提供可能となりますが、十分な専門知識が無いままに行うと、意図せぬ部位への照射や、過剰照射、過少照射につながり重大な医療事故となってしまいます。

放射線治療専門放射線技師は放射線治療に高い専門性を持つ診療放射線技師を一般社団法人日本放射線治療専門放射線技師認定機構が診療・研修実績と試験による評価をおこない、合格者に対して認定を行っている資格です。認定教育セミナーでは放射線治療概論、放射線治療技術、放射線計測(X線、電子線)、品質保証・品質管理、放射線看護、リスクマネジメント、放射線安全管理について受講し、専門知識を身に着けます。

本資格を取得することで専門領域における十分な知識・経験を持ち、標準的な放射線治療技術を提

(様式1)

供できる診療放射線技師であることを示すことができ、より安心、安全な医療の提供に寄与できます。

また平成30年7月31日発出の健発0731第1号「がん診療連携拠点病院等の整備について」における拠点病院指定要件において、放射線治療に関する専門資格を有した診療放射線技師の配置が望ましいとされており、この専門資格に放射線治療専門技師認定資格が該当します。

私は令和4(2022)年度放射線治療専門放射線技師認定試験を受験し合格しましたのご報告させていただきます。